

学士課程教育における自己点検とその改善に関する年次報告書（総評）

AI・データサイエンス応用基礎特定プログラム

1. 評価結果一覧

自己点検・評価単位	分析項目 1-1-1	分析項目 1-2-1	分析項目 1-2-2	分析項目 2-1-1	分析項目 2-2-1	分析項目 2-2-2	分析項目 3-1-1
AI・データサイエ ンス応用基礎特定 プログラム	④	—	—	—	—	④	③

(⑤十分に適合する ④適合する ③やや適合する ②余り適合しない ①適合しない)

2. 評価結果に対する総評

本特定プログラムは2021年度以降入学生を対象としている。2021年度の履修登録者は1年次開講科目（教養教育科目）である「情報・データ科学入門」、「ゼロから始めるプログラミング」、「データサイエンス基礎」であり、分析項目 1-2-1, 1-2-2, 2-1-1, 2-2-1 に該当しないため、未評価である。

編成および授業内容については、数理・データサイエンス・AI 教育強化コンソーシアムにおいて公表されている応用基礎レベルモデルカリキュラムの学修内容に含まれる項目のうち、「コア学修項目」および「数理・データサイエンス・AI を学ぶ上で基盤となる学修項目」を網羅するように構築されており「④適合する」と評価した。今後、履修登録学生による授業改善アンケート、修了生の卒業時アンケート等、卒業5年後のアンケート等の回答結果や、学外の企業等からの意見を参考に授業内容のさらなる改善を図る。

分析項目 2-2-2 については、数理・データサイエンス・AI 教育強化コンソーシアムにおいて全国各地で開催されたワークショップ・FD 等に参加しながら、教育内容や方法等に関する情報を収集している。

分析項目 3-3-1 についても、本学の web サイトにおいて本プログラムの目的・編成・授業内容について公表しているが、特定プログラム登録者数は少ないことから「③やや適合する」と評価した。今後、新入生のガイダンス等において、さらに本プログラムの有用性をアピールし、登録者数の増加を図る。

<参考> 特定プログラムの各基準・分析項目

領域		基準		分析項目	
領域1	教育課程と学習成果に関する基準	基準1-1	教育課程の編成及び授業科目の内容が、プログラムの到達目標に照らして、体系的であり相応しい水準であること	分析項目1-1-1	教育課程の編成及び授業科目の内容が、体系的を有しており、プログラムの到達目標に相応しい水準となっていること
		基準1-2	教育の目的と人材像に照らして、適切な学習成果が得られていること	分析項目1-2-1	教育分野で求められるスキルの伸長度、卒業や資格取得の状況から学習成果が認められること
				分析項目1-2-2	学習の達成度や満足度における学生からの意見聴取の結果、学習成果が上がっていること
領域2	内部質保証に関する基準	基準2-1	内部質保証が有効に機能していること	分析項目2-1-1	自己点検・評価を行う上で必要な情報を体系的、継続的に収集・分析する取り組みを、プログラムにおいて実施し、その取り組みが効果的に機能しているかを検証していること
		基準2-2	組織的に、教員の質及び教育研究活動を支援又は補助する者の質を確保し、さらにその維持、向上を図っていること	分析項目2-2-1	成績評価や学生指導について教員会等で情報共有を図り改善していること
				分析項目2-2-2	大学、学部、プログラム等において開催されるFD研修会などに参加し、その内容を教員会等で共有して、教育・研究の改善に役立てていること
領域3	情報の公表に関する基準	基準3-1	教育研究活動に関する情報が、適切に公表されることにより、説明責任が果たされていること	分析項目3-1-1	プログラム等の目的、教育課程の編成及び授業科目の内容等が適切に公表、周知されていること(教職員及び学生含む)